

今回の會長排斥の原因は表面
背信行為問題を理由として現は
れ居ますが其根本は急進派對
抗して居ますが其根本は急進派對
急進派の争ひで有り普選派非普
選派の争ひと見るが至當て有
ます此の思想の違ひと八木君に
反感を持つ者と金錢問題以外
に定見ど主張のなき一派の人々
が結び付て刷新派の運動とな
つたもの有ます
そうして凱歌を得ながら分裂
刷新派は其初めに於て會長を
排斥する共向上升に何等の動搖
なく反つて會員は増加する。宣
傳して金子氏を起した所期の目
的を達したのです

する所に就て考へて見ますに其の前に刷新派の事實上の首領たる川村主事と木氏の性格と思想の相違が今回の分裂を見た最大の原因であります。川村主事は理論的想派であつて研究の結果を直ちに現實に行はんとする人であり、露骨に批評すれば世の中の實情と人情の機微を知らない學究的な人であります。是れに對して八木氏は官業労働者たる立場から現實を基礎として理想に到達せんとする人と見られます。爰に於て從前から意見の違から感嘆の行達と衝突は起り勝ちであつて、前事件當時も八木氏と川村主事との兩立は争ひの原因たる事を豫知して両氏に注意したのも有つたが不幸にして今回の事件の原因となつて現はれたのは決して偶然でないのです。而かも平穀裡に解決出来た事例を分離に導いた罪は何ぞ云ふて居ても理屈を附して辯じて居らえて新派の川村主事初め同系統に屬する人々が世の中の實状に匹敵する理論にのみとらわれ過ぎた結果であります。

外何等の主義はない事は刷新派に屬する人こそも認めて居られる所であります。次に八木氏排斥の理由とする條項に就て考へるに第一態度が驕慢と言ふが公平に見るならば向ふ上會創立當時よりの態度であつて性格が斯く見ゆるのを漸改めつゝ有り今日に於ては排斥の原因ごするに酷なる事は何人も認める所であります。

第二には生活が華美であると言ふが要するに服装の点と思ふのは是從前から折襟服を勞動運動者が着る可からずと言ふたが、是は着る可からずと云ふ頃迷惑なる論者が有り一時相應議論を戦はした事は尙ほ刷新派の人々との記憶に残つて居る等だが其考へ方から出發した者でありそれは今日の排斥理由とはならないものであると考へます。

第三には労働運動に無理解官僚的であると詰詰して居るが労働運動に無理解な者が果して三年間のアノ何人も認むる努力熱心が無理解者として執り爲めに多くの信頼を得官僚界に貢獻して居るかは全愈

行于丁酉之日，余年三十有三，歲在癸卯，月在仲夏，日之庚午也。余嘗好古文，每見其書，必愛之，不以爲已。今聞此言，心甚悲憤，不知何以自處。惟願上天垂憐，使余無病無災，長享天年，則余死而瞑目矣。